

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社DNPファインオプトロニクス 三原東工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田西町小原73-1

(3) 業種

2899 その他電子部品・デバイス・電子回路製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	117,680	53,726 54.4	49,793 57.7	45,844 61.0	45,602 61.3	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	117,680	53,726 54.4	49,793 57.7	45,844 61.0	45,602 61.3	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する自 己評価	冷凍機の運用見直しや太陽光発電設備の導入で、 エネルギー使用量・温室効果ガス排出量を抑制した。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

投入メーター数(km)

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	55.64	52.04	46.85	0.0	0.0
実績に対する自 己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	燃料使用量を年1.0%削減	・ 効率の良い設備の稼働率UP ・ 冷凍機の運用方法の検討 ・ 温湿度設定や運転状況の見直し 等
2	電力使用量の削減	電力使用量を年1.0%削減	・ 不要設備の停止 ・ 設備機器の適正運転 ・ 照明LED化 等
3	非化石エネルギーへの転換	受電量の約9%を削減	・ 太陽光発電設備の運用
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	産業廃棄物削減	ゼロエミッション (最終処分場利用率0.5%以下) を維持	設備、技術、生産工程の改善 分別回収、リサイクルの推進
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。